

SOAI

相愛ファミリア

相愛大学 www.soai.ac.jp
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4番1
相愛中学校・相愛高等学校 www.soai.ed.jp
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1番23号

2019
No. 35

familiar



華やかな舞台を支える
縁の下の力持ち

インタビュー！社会で活躍する卒業生

平田 かつきさん

関西舞台株式会社

華やかな舞台を支える 縁の下の力持ち

社会で活躍する卒業生

関西舞台株式会社
平田 かつきさん

2017年3月 相愛大学人文学部人文学科
仏教文化専攻卒業

2017年4月 関西舞台株式会社入社



浪速の文楽の殿堂、国立文楽劇場(大阪市中央区)には舞台を支える職人たちがいます。大道具担当の平田かつきさんもその1人。「まだこの世界に飛び込んだばかりで毎日が勉強です。中学の時に古典芸能に出会ってから、ずっと好きなことをさせてもらっていますから、本当にありがたい」。そう楽しそうに語る平田さんに聞きました。

平田さんは伝統芸能の舞台製作を手掛ける「関西舞台株式会社」の社員で、入社して3年目。服装は黒の上下に足もとは雪駄だ。腰に巻いた道具入れ(ガチ袋)に釘や釘抜き、金づち、電動ドライバーが入っている。「体力勝負なんです。私、鈍くさいから青あざが絶えなくてね。腕の筋肉も堅くなりました」。仕事は舞台の設営から運搬、転換、仕掛けを動かす「きっかけ」まで担当している。劇場だけでなく、毎年3月と10月の各1か月間は地方巡業にも出る。

とりわけ神経を使う仕事が「きっかけ」だ。文字通り舞台袖で待機し、いい頃合いを見計らって障子を開け、芝居が始まるきっかけをつくったりする重要な役目だ。「お姫さんの登場シーンなら、お姫さんらしくすーっと上品に開けたり、お侍さんだと、ぱっと力強く開けたりします。雪を降らすのも、タイミングや降らせ方は担当する人によって微妙に違うんです。技術や感じ方の差が出ますから、客席の前後左右、中央と、いろんな角度から先輩のやり方をよく見て勉強しています」

もちろん、まだ駆け出しだから、手掛けるのはどれも初めての演目ばかり。「たとえば『夏祭浪花鑑(なつまつりなにわかがみ)』は、古典特有の『浅葱幕(あさぎまく)』の振り落とし」という転換があるんです。あらかじめ舞台に幕を垂らしておいて、その幕を床に落とし、一瞬で舞台を作りかえます。ダイナミックな演出ですね。すごく大変ですけど、古典好きの私はとても楽しくて、大好きな演目なんです」

◆能を見て古典芸能に惹かれ

古典芸能がとにかく大好きだったという平田さん。「中学の時、たまたまテレビで能『羽衣』を見て、なんてきれいな天女の舞なんだろうって衝撃を受けました。

分からないところは調べながら見ていると、謡曲の中に、お経をはじめ、仏教の言葉や教えがたくさん入っていることが分かり、仏教を勉強したい。そう思って地元大阪で仏教が学べる大学を探しました。相愛大学では釈徹宗先生のゼミに入り、相愛寄席の運営スタッフ、新入生歓迎会の委員長も務めました。一番思い出深いのは伝統芸能同好会を作ったことでしょうか。残念ながら私の卒業と同時に休部になったみたいですが(笑)」

学生時代は、毎日のように文楽を見ていたそう。「文楽上演中に場面が変わる時の転換がすごくカッコよくて、大道具の道に進みたいと思いました」。大学3年の時に「匠塾」という音響や照明、大道具など舞台のことを学ぶ塾に通い、塾の現場実習で、関西舞台の岡本義秀社長に出会ったと言います。「文楽の舞台に特化しているのは関西舞台だけでしたから、どうしてもここで大道具の仕事がしたいと直談判しました。泣きながらお願いしたんです!」。岡本社長は「顔を見る度に、入りたいたいと言うので、熱意に負けたかな。でも、興味を持ってこの世界に入ってきたのはうれしいですね。好きが一番ですから」と目を細めます。



◆大道具の仕事にやりがいを感じ

戸惑いから始まった大道具の仕事。「ある日、渡された仕込帳に『定式』とだけ書かれていて、さっぱりわからない。古典芸能では演目ごとに使う道具が決まっています、それが『定式』です。一度覚えてしまえば、演目の全体像や仕組み、どうすればスムーズに転換できるかが見えてきます。今は、ひとつ覚えるたびに、やりがいが増す感じですね。憧れている大先輩がいるという。「生き字引のようなすごい70代の男性です。何十年も上演していない演目の『定式』まで完璧に頭に入っているんですよ。倉庫のどこにどんな道具があるかも、演出の内容まで分かっています。私も『平田さんに聞けば何でも答えてくれる』と言われるようになりたいですね」

◆後輩へのメッセージ

いまま文楽の稽古中に、なんかどこかで聞いたことがあるなと思ったら、釈先生の授業で習ったことだったりするんです。大学で学んだことに無駄は何ひとつありませんよ。私は「やりたい」と思ったらまず行動を起こしてきました。そして周りの人に「やりたいこと」を言うのが大事だと思います。恥ずかしがらず、思いを言葉にして、未来を切り開いてほしいです。



新たな「探究」学習 「SDGs」をコンセプトに

国連グローバル・コンパクトに加盟



国連が掲げる持続可能な開発目標「SDGs (エス・ディー・ジーズ)」は貧困や人権、環境といった地球規模の課題に対し、民間企業や団体が連携して行動を起こす取り組みです。相愛中学校・高等学校は、この取り組みに賛同、SDGsを推進する「国連グローバル・コンパクト」に加わりました。安居健治校長に聞きました。



——きっかけを教えてください。

本校と同じ龍谷総合学園加盟校の武蔵野大学千代田女学園中学校高等学校がいち早く参加し、グローバルな人材育成を進めていました。「だれも置き去りにしない」社会の実現を掲げるSDGsは、仏教の教えに基づいた本校の理念とも合致します。本校が教育の一環として、これまで発展させてきた地域社会との連携・貢献活動はSDGsのめざす目標とも密接に関わる活動ですから、SDGsの取り組みを通して本校が大切にしていることを生徒たちにより分かりやすく、そして、自然な形で伝えることができるのでは、と考えました。

——どのように展開されますか。

いま、学習指導要領の改訂など学校教育が大きく変わろうとしています。移行時期です。その新学習指導要領のキーワードが「探究」。高校ではこれまでの「総合的な学習の時間」が「総合的な探究の学習」に変わり、各教科でも「古典探究」「日本史探究」などの新科目が設けられます。「探究」を通し、生徒が主体的に課題に向き合い、解決していく資質・能力を高めなければなりません。さらに社会人に必要な基盤となる能力を身に付けさせることがますます求められています。

こうした教育変革をきっかけとして、時代の流れに合った中期的な将来構想をまとめています。その柱が次世代を担う生徒たちのキャリア力を育む「探究」プログラムの導入です。この

プログラムの題材としてSDGsをコンセプトとして実施します。

——具体的に教えてください。

SDGsには「世界を変えるための17の目標」がありますが、生徒がどの目標に興味を持ち、深く探ろうとするのか。教員が指導するのではなく、アドバイザーとして、生徒に任せます。生徒自身が感じたことを重視したいからです。一人ひとりのキャリア力を育てる教育にもつながると思っています。

まず、2019年度はトライアルと位置づけて、「探究」プログラムの流れや内容を体験します。一例を紹介すると、中学3年生、高校1年生は「ソーシャルチェンジ」という社会の課題を探究する専門プログラムを、高校2年生は龍谷総合学園の交流事業として「まごころある国際人の育成～仏教×SDGs」をテーマに独自の探究プログラムを始めます。4月から各校で「自分たちができる活動」を考え、提案します。8月には各校の代表がプレゼンテーションを行う予定です。——今後について教えてください。

将来構想をまとめるにあたって、本校が創立130周年という節目を迎えたこともあって、「相愛らしさ」とは何かを改めて考えました。それは「自利利他」と「共生」の素養を兼ね備えたうえで、未来社会を生き抜く自立した女性を育てることだと認識しています。新たな「探究」プログラムを通して、自信を持って社会に送り出せる女性を育てていきたいと思っています。

●相愛中学校・高等学校 校長
安居 健治



「先生力」を養っています 保育者をめざして

子ども発達学科3回生
鈴木愛可さん

06
LIVE REPORT
在学生



子ども発達学科3回生
朝枝舞さん



南港キャンパス7号館の保育演習室で定期的に開かれている『あいあい相愛おはなしのへや』(あいあい)。学生スタッフ「おはなし隊」のお兄ちゃん、お姉ちゃんが現れると、子どもたちの笑顔ははじけ、あっという間に絵本の世界に引き込まれていきます。「おはなし隊」の朝枝舞さんと鈴木愛可さんは子どもたちと触れ合いながら保育者に必要な「先生力」を身に付けようと懸命です。

全てが学びの「おはなし隊」

「あいあい」は地域の子どもたちに絵本の読み聞かせや紙芝居、お話し劇など「お話し」をいろいろなスタイルで提供しています。学生にとっては貴重な実践の場でもあります。朝枝さんは「絵本選びから劇の配役、演技方までメンバーで相談して決め、練習を重ねて披露します。準備は大変ですが、子どもたちの笑顔を想像しながら、みんなで1つのもを作り上げる達成感があります。子どもたちの反応が想像以上に良かったりすると、うれしいですね」と話します。鈴木さんは「読み聞かせは読む人によって子どもの反応がはっきり分かります。技術のある人が読むと子どもはストーリーに夢中になるん

です。実際に子どもたちと触れ合いながら、様々な気付きも得られます。子どもたちから教わることも本当に多いですね」と言います。

積極的なチャレンジが自信につながる

2人は「おはなし隊」のほかにも親子で遊ぶイベント『相愛子どもわくわくあそび広場』にも携わっています。オープンキャンパスのスタッフ、アルバイトにも励んでいて、充実した大学生活を送っています。

朝枝さんは「学生の間にしかできないこともたくさんあって、積極的に挑戦しようと思うようになりました。人見知りだったので、それこそ大きな成長です。アルバイトでお金を貯めて、卒業旅行は海外に行きたいなあ」とにっこり。鈴木さんはバスケットボール部のマネージャーも務めています。「先生や先輩、同級生、子どもたち、



保護者の方など多くの人と関わることで自信ができました。最近は料理教室に通い始めました。社会人になったら1人暮らしをしたいので、そのための準備です！」

それぞれの夢に向かって

どんな保育者になりたいですか？ そう尋ねると鈴木さんは大好きな絵本を紹介してくれました。だるまさんシリーズ「がの・と」(プロンズ新社)、「わたしのワンピース」(こぐま社)、「しろくまちゃんのほっとけーき」(こぐま社)の3冊です。「絵本には子どもが初めて出会う世界が広がっています。動物の絵本を見た後で本物の動物を見たらすごく感動するでしょ。そんな感動をたくさん与えられるような保育者になりたい」と言います。「もっと勉強して、たくさんの絵本を取り入れた保育をしたいと思っています」。子どもに寄り添える保育者になりたいと言う朝枝さんは、幼児にも親しみやすいフレーズとメロディーが魅力のわらべ歌がいつもクラスに響くようにしたいと話します。「朝枝さんのクラスはいつも元気に歌って踊ってるね、なんて言われるようになったら最高です」。2人は夢に向かって、歩み続けています。

相愛学園 ウステリア基金 ご寄附のお願い

さらなる発展に向け ご支援をお願い致します

相愛学園の各校は、1888年(明治21年)の相愛女学校創立以来の伝統を引き継ぎ、建学の精神であり、また、校名の由来でもある「當相敬愛」に基づく教育を実践してまいりました。友、師、家族はもちろん、広く社会の皆様を敬い慈しみあうことを学んだ、人柄に優れた有能な卒業生を輩出し高く評価されております。これも本学を支えていただいた一人おひとりのお力添えの賜物と、心から感謝申し上げます。

さて、今日、社会が急速に変化する中、新しい時代に向けた教育への期待はますます高まっています。本学園では創立130周年となる2018年(平成30年)を起点に、5年、10年と、さらなる発展に向けて、ご賛同くださる皆様のご芳志を募ることといたしました。皆様のご寄附を「ウステリア基金」として基金化し、教育、研究活動の充実に活用させていただきたいと考えています。なお、基金名のウステリアは、学園の校章である下がり藤を意味する「ウステリア」から名づけています。なにとぞご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



学校法人相愛学園
理事長

金児 暁嗣

ウステリア基金の用途

ご寄附が相愛の伝統を 深化させます

重点事業の積極的推進に活用させていただきます。



教育支援事業

教育内容の質的転換、高大接続を始めとする新たな取り組みなど、教育課程の改善を通じて社会に貢献できる人材の育成をめざします。

専門性に基づく研究体制の整備、学園外との連携強化などを推進し、特色ある研究活動を実施します。

研究支援事業



教育環境整備事業

学力の定着に向けて、快適かつ安全衛生に配慮した学びやすい環境づくりを推進します。

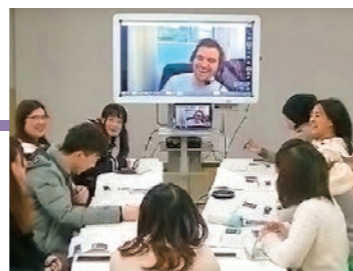


地域貢献事業

地元自治体や産業界、医療機関等との連携を強化するとともに、各種公開講座・演奏会などを推進します。

国際交流事業

海外の大学・学校との連携をより強めるとともに、英語教育の充実など、国際化への対応を強化します。



※用途指定寄附もお受けさせていただきます。別途ご連絡をお願い申し上げます。

同窓生、一般個人、企業様などより
ご支援が寄せられています。

ご寄附の方法

ご友人と誘い合わせ、 後輩たちの応援を!

コーヒESHOP数回分の額から相愛学園で学ぶ後輩たちの応援をしていただけます。ご寄附のきっかけとして、お祝い事の機会にされた方、予定外の収入を充てた方もあります。手続きはとても簡単です。どうかあなたの温かいお心をアクションに移してください。

個人の方

一口1,000円でおいくらでも結構です。
5つのご寄附方法を準備しております。

インターネットを通じ、ご自宅から居ながらにして

- 1 クレジットカード払
- 2 コンビニ払
- 3 インターネットバンキング

相愛学園ホームページからお申し込みください。
<https://www.soai.jp/wisteria/index.html>

おなじみの「専用払込取扱票」で、お手軽に

- 4 ゆうちょ銀行(郵便局)
- 5 銀行振込

※ 用紙は必ず金融機関窓口にお持ちください。

- ・ゆうちょ銀行(郵便局)の場合、手数料不要。
- ・三菱UFJ銀行本支店からのお振込も、手数料不要。その他金融機関から振込む場合は手数料を差し引いて送金ください。

用紙がお手元がない場合は、下記のお問い合わせ先にご依頼ください。

法人の方

金額は一口10,000円以上でお願い申し上げます。
詳しくは下記お問い合わせ先までご連絡をお願い致します。

税制上の優遇措置のご案内

ご寄附で税金が 安くなる可能性があります

個人の方

優遇を受けるには確定申告が必要です。

■所得税 下記の「いずれか」を選択できます。

●税額控除(寄附金特別控除) 「税額」を控除

$$\text{計算式} \quad \text{税控除額}(\times 1) = (\text{その年中に支出した寄附金の額}(\times 2) - 2,000) \times 40\%$$

●所得控除(寄附金控除) 所得税計算上の「総所得金額」から控除

$$\text{計算式} \quad \text{寄附金控除額(所得金額からの控除)} = \text{その年中に支出した寄附金の額}(\times 2) - 2,000$$

※1 税額控除額は、所得税額の25%相当額が限度

※2 寄附金の合計額は、総所得金額等の40%相当額が限度

所得税軽減額の目安 寄附額1万円の場合			
課税所得金額	所得税率	所得控除の場合	税額控除の場合
300万円	10%	800円	3,200円
500万円	20%	1,600円	
800万円	23%	1,840円	
1,200万円	33%	2,640円	

※実際の所得税額は控除額、復興特別所得税等が加味されます。

■大阪府下にお住まいの方は個人住民税も税優遇

$$\text{計算式} \quad \text{翌年の個人住民税(所得割)から控除} = (\text{当学園への寄附金の額}(\times 3) - 2,000) \times 2 \sim 10\%(\times 4)$$

※3 寄附金の額は、総所得金額等の30%相当額が上限

※4 お住いの市町村によって率が異なります。

法人の方

下記のお問い合わせ先へお尋ねください。

詳しくは所轄の税務署にお尋ねください。確定申告には、当学園が発行する「寄附金受領証明書」が必要です。大切に保管をお願い致します。



顕彰とお礼のご案内

ご寄附いただいた皆様には、金額に応じた記念品の贈呈、または、顕彰をさせていただきます。

全員の方に	お礼状に添えて、寄附金受領証明書(税申告用)を届けさせていただきます。また、ご希望でない方を除き、ご芳名を相愛学園ホームページで紹介させていただきます。
1万円以上 ご寄附の方に	(上に加えて)ささやかな記念品をお届けします。
10万円以上 ご寄附の方に	(上に加えて)南港講堂入り口に顕彰プレートを設け、ご芳名を掲示させていただきます。

お申し込み・
お問い合わせ先

学校法人相愛学園
総務部総務課(ウステリア基金担当)

〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4番1 電話: (06)6612-5900 Email: wisteria@soai.ac.jp

3月7日、いずみホールに於いて、円光寺雅彦先生の指揮の下、ソリストに黒田美羽さん(ソプラノ/卒業生)と西川ひかりさん(ピアノ/4回生)を迎えて、相愛オーケストラ第71回定期演奏会が開催されました。

演奏会は『ロッシーニ/歌劇「セビリアの理髪師」より序曲』で幕を開け、続いて『プッチーニ/歌劇「つばめ」より「ドレッタの夢の歌」』、『ヴェルディ/歌劇「運命の力」より「神よ平和を与えたまえ」』で、黒田さんの歌声が観客を魅了しました。後半一曲目は『ラヴェル/ピアノ協奏曲ト長調』。ソロを弾く西川さんとオーケストラが一体となった演奏で、大いに盛り上がりました。この日最後の演目となった『メンデルスゾーン/交響曲第4番イ長調作品90「イタリア」』では、メンデルスゾーン独特の優雅で抒情的な音の響きに、超満員の会場から溢れんばかりの拍手をいただき幕となりました。

音楽学部生/卒業生 受賞等一覧

学部生・専攻科生

- 前田 遼太 2回生 クラリネット
 - ・ 第1回Kクラリネットコンクール Kクラリネット賞
- 村田 美緒 2回生 ホルン
 - ・ 第28回日本クラシックコンクールホルン部門 第5位
- 浦島 朱音 2回生 ヴァイオリン
 - ・ 第9回クオリア音楽コンクール ヴァイオリン部門 大学生の部 第1位
 - ・ 第24回KOBE国際音楽コンクール 弦楽器C部門 優秀賞
- 岡本 実緒 3回生 ピアノ
 - ・ 第12回ベートン音楽コンクール 自由曲コース ピアノ部門 大学・院生Aの部 全国大会 ベスト30賞
- 友澤 孝太 3回生 トランペット
 - ・ 第24回KOBE国際音楽コンクール 金管楽器C部門 優秀賞・兵庫県文化協会賞
- 船迫 真衣 3回生 サクソフォン
 - ・ 第24回KOBE国際音楽コンクール 木管楽器C部門 奨励賞
- 藤井 祐伽 4回生 クラリネット
 - ・ 第24回KOBE国際音楽コンクール 木管楽器C部門 奨励賞
- 阿彌 凧沙 4回生 ユーフォニアム
 - ・ 第4回堺管打楽器コンクール 一般の部 金管部門 第1位 特別賞/サカイバング賞
- 松本 優輝 4回生 打楽器・マリンバ
 - ・ 第4回堺管打楽器コンクール 一般の部 打楽器部門 第1位
 - ・ 第24回KOBE国際音楽コンクール 打楽器C部門 最優秀賞 神戸市民文化復興財団賞
- 萬代 太紀 専攻科 クラリネット
 - ・ 第4回堺管打楽器コンクール 一般の部 木管部門 第1位 特別賞/グランプリ
- 本郷 尚子 専攻科 ヴァイオリン
 - ・ 第9回クオリア音楽コンクール コンサーティスト部門 第2位

大学院生

- 蔵重 成美 大学院1年生 打楽器
 - ・ 第4回堺管打楽器コンクール 一般の部 打楽器部門 第2位

卒業生

- 堀中 優子 2002年卒業 ピアノ
 - ・ 第12回ベートン音楽コンクール 自由曲コース ピアノ部門 一般C1の部 全国大会 ベスト10賞
 - ・ 第12回ベートン音楽コンクール 自由曲コース ピアノ部門 一般AIIの部 全国大会 入選
 - ・ 第28回日本クラシック音楽コンクール ピアノ部門 一般女子の部本選 優秀賞・全国大会出場
- 水崎 安美 2014年卒業 ピアノ
 - ・ 第40回阪神ジュニア音楽コンクール ドビュッシー没後100年記念の部 阪神文化振興団体連絡協議会会長賞
- 井川 華 2015年卒業 ピアノ
 - ・ 第10回 Chopin International Piano Competition in Hartford, CT (アメリカ) Professional部門 第3位
- 松岡 井菜 2016年卒業 ヴァイオリン
 - ・ 2018年(第28回) 青山音楽賞 新人賞

優雅な音色で観客を魅了

相愛オーケストラ第71回定期演奏会

第27回校内オペラ公演「フィガロの結婚」報告

相愛ならではの総合芸術



12月23日、南港ホールにて、第27回校内オペラ公演「フィガロの結婚」を開催しました。今年はこれまでの学部生、専攻科生、相愛高校生(合唱)に加え、昨年4月に新設された大学院の学生も出演しました。また舞台の照明スタッフとしてアートプロデュース専攻の学生も積極的に参加してくれました。声楽と管弦打楽器専攻だけでなく、その他の専攻がそれぞれの専攻の特色を活かして総合芸術である“オペラ”を創り上げていけることは、相愛大学だからこそできることだと感じました。そして毎年このオペラを楽しみにご来場くださる常連のお客様がいることも大変うれしいことです。次回は2020年3月15日「魔笛」の予定です。

修了演奏会 卒業演奏会

ホールに響く美しい音楽 学びの成果を披露



修了演奏会



卒業演奏会

3月27日、いずみホールにて、2018年度音楽専攻科修了演奏会と音楽学部卒業演奏会が同日開催されました。まず、修了演奏会からスタートし、5名の専攻科生が1年間の学修成果を存分に発揮しました。演奏技術や舞台での立ち振る舞いなど、演奏者としての余裕が感じられる演奏は、訪れた観客の心を引き込みました。

続いて、卒業演奏会では、選抜された14名の学生による演奏が披露され、4年間の集大成となる演奏会となりました。ホールに響き渡る美しい音楽とともに、客席は温かい雰囲気にも包まれ、大きな拍手が湧き上がりました。

華々しい演奏を披露した修了生・卒業生のこれからの活躍を期待しています。



公開講座
「人文学を楽しむ
part2」

さまざまな方向から 社会や人間を考察する



今年度も全5回の連続講座となりました。「図書館の品ぞろえ～価値ある本か、よく読まれる本か～」(岡田大輔講師)、「中国江南文化と古代日本」(中村圭爾教授)、「ベストセラーとブランド学」(向井光太郎講師)、「絆～心理学から読み解く～」(初塚真喜子教授)というラインアップ。私は「宗教の共存について考える」という講題で第5回目を担当しました。宗教間対話を中心に、さまざまな信仰が共存する道筋についてのお話です。宗教や信仰については、誰もが当事者であるという意識が必要でしょう。「自分は無宗教だから」「宗教に関心はない」などと言う人は少ないのですが、実際に世界中では宗教問題が頻繁に起こっています。そして、私たちの社会にも明確な信仰を持っている人は大勢いて、多様な信仰が折り合いながら社会は成り立っているのです。そのことに自覚的であればならないと思います。

毎年開講されている人文学部の連続公開講座ですが、今年もさまざまな方向から社会や人間を考察する知見にあふれていました。



大阪文化特殊講義
—宗教と芸能の
人間学—

仏教と伝統芸能で学ぶ ユニークな授業

この講義は8年連続で開講されています。おそらく他に類がないような講義だと思います。毎回、「宗教と芸能」に関する講義があり、プロによる落語や講談や浪曲の実演があり、桂春園治師匠の芸談があるので。

そもそも宗教と芸能は密接な関係にあります。日本においても、伝統芸能の基盤には仏教や神道が脈々と流れています。さらに、落語は日本仏教の「お説教」の形態を色濃く残した特別な芸能です。さまざまな日本文化の要素を内包した、興味深い芸能でもあります。今年度も『落語に花咲く仏教』(朝日選書)をテキストに使用しました。

また、この講義の一環として、毎年本町学舎で「相愛寄席」が開催されています。



人文 TOPICS

学生による相愛学園所蔵の資料調査始動!

昭和38年に作られた『相愛学園創立75周年記念誌』には、亀井勝一郎・円地文子・岡部伊都子・山崎豊子といった相愛学園にゆかりのある作家たちが寄稿しています。相愛学園には、その時の原稿と書簡が残っています。人文学部の3・2回生の有志が3月1日にそれらの資料を調査しました。貴重な資料を扱う際の注意点や自筆資料を見る面白さなど、発見の連続でした。



歴史と文化に触れ理解をより深める 学外研修

ゼミの学外研修として、京都の郊外、鞍馬寺や貴船神社、下鴨神社(河合社)を巡りました。牛若丸(義経)の伝承や和泉式部と貴船明神との贈答歌、貴船の本地の物語、鴨長明の方丈の復元などの古典文学ゆかりの地を探索する目的の研修でしたが、山深い鞍馬の周辺は、杉の倒木が山肌を覆い、前年の台風21号の被害がまだまだ多く残っていました。災害の爪跡を実感して、歴史的景観と防災について考えさせられたことは思わぬ収穫でした。



子ども発達学科

学生と現場教師がともに学ぶ



本学科出身教師や教育委員会指導主事等を招き、1～3月期に7回に渡り、4月から教壇に立つ4回生や実習を控えた3回生を対象に、ともに学ぶ交流会を実施しています。教師が現場で求められていることやそれに応えるための心が、

悩みや困難の中、教師を続けられている理由などについて実体験をふまえた話はとても説得力があり、学生はもちろん、参加者全員が真剣に聞き入りました。さらに、講師から正採用となった卒業生からは、講師をしながら採用試験合格をめざした体験談も聞きました。仕事との両立方法、講師をすることのメリット・デメリット、やりがいなど体験談を交えた具体的な内容は、学生にとって、大変共感できます。学生も現職の先生も活発に発言し、ともに学ぶ場となっています。



Part 3

徹底した実践教育の
充実と発展
現場の方々との交流を
通してより深く学ぶ

保育者・教員に求められている 実践的指導力の向上をめざして

子ども発達学科では、保育・教育職に求められている実践的指導力の養成方法として、現職の先生から直接、体験的に学ぶという実践教育プログラムを3・4回生次に各種実施します。先生として働く卒業生や現場で特に求められる分野の専門家に大学に来ていただき、ともに学ぶ体験を通して実践的指導力の向上を図っています。各種プログラムの中からここでは3つ紹介します。

カプラ遊びの実践演習(4回生)



「カプラ」とは、フランス海岸松で作られた板で、長さ15cm、幅3cm、厚み1cmの薄くて軽い子どもの手のひらサイズの板です。この板が、積み方を工夫することで子どもが入れるような家や背の高いキリンなど様々に変身します。カプラ遊びは子どもの創造力、集中力、巧緻性、仲間との協力やコミュニケーション能力を育みます。学生は、まずキリンの顔ができると感動し、次は足になる部分をいかに高く積みかを仲間と協力しながら真剣に

作っています。このような活動と感動体験を通して、子どもにとっての遊びの魅力や意味への理解を深めます。そして卒業後も、子どもの心に共感し、ワクワクドキドキの気持ちを持ち続ける保育者・教師・大人となることをめざしています。



国際災害レスキューナースによる
防災講座～災害時に生き抜くために～

講師の辻先生は、国際災害レスキューナースとして、自衛隊の方たちと一緒に災害現場に入り、救援活動をされています。辻先生から、4月から先生として子どもたちの命を守っていかなくてはならない4回生を対象に、まずは地震・火事・津波・大雨・土砂災害・台風などの災害時に、生き延びる方法を学びます。数多くの現場に携わってこられた事例を踏まえ、具体的、実践的に学びます。地域の保育・教育現場の先生方にも開放し、ともに学びます。



新聞紙で頭を守る正しい方法は?

発達栄養学科



第5回糖尿病フェスタ

わろてんか! 糖尿病!!

健康で丈夫なからだをつくる



大阪急性期・総合医療センターとの連携事業として『糖尿病フェスタ』が11月10日に開催されました。

11月14日の世界糖尿病デーにあわせて毎年11月に開催しています。今年のテーマは「わろてんか!糖尿病!!」。発達栄養学科3回生全員が参加し、管理栄養士の卵として活躍しました。「野菜」「減塩」「バランス良い食事」をテーマにミニ講義や紙芝居、体脂肪測定など体験学習ブースを担当しました。学生は「たくさんの方が熱心に私たちの話を聞いてくださり、緊張しましたがとても良い経験ができました。」と話していました。



医療と防災の意識を高める

高校生に食育

ふれあい病院探検隊



1月7日に大阪急性期・総合医療センターにおいて、高校生を対象に『ふれあい病院探検隊』が開催されました。病院での様々な仕事を体験できるイベントで、発達栄養学科では、骨密度や体組成の測定や、食育クイズ、SATシステムによる食事診断を行いました。また、昨年は自然災害が多発したことを受け、新たに防災コーナーを設け、学生作成の「防災ビンゴゲーム」や防災のリーフレットを配布し、多くの高校生に関心を持ってもらうことができました。

めざせ! 管理栄養士

着実に広がる
実践の場
地域社会や企業に
求められる相愛大学

食育推進
キャンペーン

2月2日に毎年恒例となる地域の子どもたちを対象とした食育推進キャンペーンを開催しました。食育のできる管理栄養士をめざす2回生全員が「朝食、野菜、おやつ」をテーマに初めての食育に挑戦。それぞれのグループで知恵を出し合って、子どもたちにわかりやすい媒体制作を進めました。この日は晴天に恵まれ、会場は子どもたちと学生の熱気に包まれました。興味いっぱい瞳を輝かせる子どもたちと交流する学生の笑顔が眩しい1日でした。



第7弾!!

相愛大学×懐石料理「徳」

春の新作お弁当 3月4日より好評販売中

今年で2年目となる「商品開発入門」では、商品開発や経営、市場調査の方法、分析の仕方や開発の実際の様子を学び、商品開発の技術を修得します。1回生28名が受講し、その中から3チームを編成して、「徳」代表、本学客員教授の鷲岡氏の指導のもと、3種類のお弁当を開発し、阪急うめだ本店で期間限定販売され、大好評でした。学生からは、「お客様の求められるものを開発し、販売するまで、商品開発の楽しさを体験することができました」との声が聞かれました。完成したお弁当は5月末までの販売予定です。



高校バレーボール部 「仲間と共に夢へ挑戦」を掲げ 全国大会初出場



高校のバレーボール部が初の全国大会出場を決めました。相愛創立130周年を迎えた節目の年に創部以来の悲願を達成したことで学校はお祝いムード一色です。顧問の福岡俊二監督とキャプテンの中川那奈さんに聞きました。

3月26日から4日間開催の「第24回全国私学高等学校男女バレーボール選手権大会(さくらバレー)」出場の切符を懸けた近畿私立高等学校選手権大会(昨年12月)、対大阪学芸高戦はフルセットの末の粘り勝ちを収めました。中川さんは「保護者の皆さまの大声援を受け、思い切ったプレーができました。全国をめざして練習してきたので、決まった時はコートで抱き合って喜びました」と振り返ります。

◆持ち味は早い攻撃につなげる組織プレー

バレー部のモットーは「仲間と共に夢へ挑戦」、高校生と中学生が一緒に練習しています。中川さんは「大砲はいません。身長も高くありません。

組織プレーこそが持ち味です。早いコンビ攻撃につなげるために、とにかく1本目のレシーブが重要で、正確なレシーブを課題として取り組んで



きました」。この10年、伝統の相愛バレーの復活をめざし、強化してきた福岡監督はこう分析します。「精神面はまだ弱いですが、守備から早い攻撃のリズムを生み出す試合運びがうまくなってきた。セッター以外の5人のアタッカーがまんべんなく攻撃している時が一番いい状態です」

◆自主性を育てる指導

選手は基本的にすべてのポジションをこなす、オールラウンドプレーヤー。「バレーの楽しさはもちろん、自分のポジションのしんどさ、他のポジションの難しさを知ることで視野も広がります」と福岡監督。自主性を重んじる指導も心掛けています。「この選手にはいま、どんな練習が必要で、どう成長してほしいか。選手自らが考えて練習しています。勝つチームにするだけでなく、選手たち

が社会に出た時に必要とされる人材に育てることを第一に考えてやってきました。それが相愛バレーの伝統ですね」

キャプテンとしてチームを引っ張る中川さんは言います。「私の行動を全員が見ているので、しっかりしなくてはいけないと思っています。ふにやふにやと話していたら、誰もついてきてくれないでしょ。声を張って自信を持って話すように心がけています。バレーを通して、礼儀やコミュニケーション力など社会人としての基礎も教わっています」

◆全力プレーで「相愛」の名前を全国に

全国大会を前に、中川さんは夢を語りました。「トップレベルの相手にチャレンジ精神でぶつかり、『相愛高校』という名前を覚えてもらえるようなプレーをしたい」。福岡監督も気合いは十分です。「ようやくこの場に立つことができました。次は全国で勝てるチームになるために何が必要かを、生徒たちが肌で感じて、これからの相愛バレーにつなげてほしいと思っています」



高校

高校生活しめくくりの法要 高校3年生 卒業奉告参拝

2月27日、晴れ渡る空の下、本山(西本願寺)を訪れ、卒業奉告参拝を行いました。当日参加した卒業予定の生徒全員が帰郷式を受けることとなりました。さらに、得度をすでに受けている佐々木華さんが布袍で参加することも、他の年とは一色違った彩りを添えてくれました。法名をいただくことは、生徒それぞれに新たな名前がつけられることですから、まさしく新たな気持ちを抱いているようでもありました。御影堂での参拝式は、真宗宗歌、敬礼文、三帰依、念仏、御法話、恩徳讃と続く高校生活しめくくりの法要となりました。その後、大谷本廟に参拝しましたが、1年生の折の参拝からあつという間の時の流れだったと感じることとなりました。



高校

生徒がセルフプロデュースする 電子オルガンライブを開催



音楽科電子オルガン専攻では、親しい友人やお世話になっている保護者や先生にギフトを届ける気持ちで、定期ライブ『GIFT宙-sora』を開催しています。8回目となった2018年のギフトは、「校門から講堂までを1つのライブ空間にする」というコンセプトのもと、電子オルガン演奏でシンデレラ階段の下→上→ピロティ→講堂へ、時間と人の移りゆく流れを描いた試みは大成功でした。学校全体の中でどのようなイベントであるべきかを生徒たちが考える機会として、セルフプロデュース及びマネジメントの視点で学べるよう今後も盛り上げていきます。



中学・高校 吹奏楽部 第8回定期演奏会

3月23日に本町講堂において第8回定期演奏会を開催しました。第1部は現役生徒のみのステージ、第2部は今年のコンクール等で優秀な成績を収めたソロ、アンサンブル、第3部はOGも参加し、総勢28名での合同演奏となりました。

日頃経験できない大きな編成での演奏は、生徒たちにとっても、OGにとっても貴重な体験となりました。OGとの合同演奏は迫力満点で、会場との一体感を実感した心に残る演奏会となりました。



相愛大学卒業証書授与式、相愛大学音楽専攻科修了証書授与式が、3月18日に南港講堂にて挙行されました。相愛創立130周年、そして平成最後という大きな節目の年となった式典では、音楽学部80名、人文学部49名、人間発達学部128名、音楽専攻科5名が卒業証書・修了証書を受け取りました。多数のご来賓、保護者、在学生、教職員に見送られるその姿には、これから社会人として長い時を歩むにふさわしい凛々さと、素晴らしい未来を感じさせる華やかさがありました。



大学



高校



2018年度卒業式

新たなステージへ旅立ち

3月2日、相愛高等学校卒業証書授与式が本町学舎講堂にて挙行されました。開式のことばに続く学園歌斉唱で、すでに感極まる生徒が印象的でした。安居健治校長による卒業証書授与では、119名の生徒一人ひとりが凛々しく、堂々とした所作で卒業証書を拝受しました。

午後からは、リーガロイヤルホテルにて卒業記念パーティーが催され、たくさんの保護者にもご参加いただきました。普通科各クラスの思い出が詰まったビデオレターや、音楽科の合唱により、笑顔と涙にあふれる大変盛り上がったものとなりました。



中学



3月16日に相愛中学校卒業証書授与式が本町学舎講堂にて挙行され、53名が中学校を巣立ちました。安居健治校長による卒業証書授与では、緊張しながらも凛とした表情で卒業証書を拝受していました。入学当初の幼い表情とは違い、大人の表情がうかがえ、一人ひとりに大きな成長が感じられました。式が進むにつれて、3年間のたくさんの思い出が胸の中に去来したのか涙を浮かべる生徒も多く見受けられました。4月からの新生活に向けて、3年間の思い出を胸に、これからの大いなる成長に期待しています。



コンクール入賞者

《 高校 》	
白井 香里 (高1 フルート)	●第36回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 全国大会 第5位
阿江 麗 (高2 ヴァイオリン)	●第36回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 本選入選
荒木 晴佳 (高2 フルート)	●第20回日本演奏家コンクール 木管部門 高校生の部 全国大会 入選 ●第21回万里の長城杯国際音楽コンクール 管楽器部門 高校生の部 第5位 ●三木楽器 中学生・高校生管打楽器 ソロコンテスト 大阪大会 第7位 ●第23回全日本中・高校生管打楽器 ソロコンテスト 関西大会 優秀賞
勝山 里音 (高2 打楽器)	●第4回堺管打楽器コンクール 高校生の部 マリンバ部門 第4位
川上 裕美子 (高2 ピアノ)	●プレ・カーニバル福岡大会 連弾部門 全国大会出場予定
田村 凜果 (高2 ヴァイオリン)	●第76回福山音楽コンクール 中国新聞社賞 ●第35回愛知ピアノコンクール 高校生A部門 銅賞
大岡 光咲 (高3 ピアノ)	●第9回ヨーロッパ国際ピアノコンクール 高校生部門 全国大会 銀賞 ●第7回みおつくし音楽祭 大阪クラシックコンクール 高校生部門 銀賞
糟野 優香 (高3 ピアノ)	●第12回ベーテン音楽コンクール 自由曲コース 最優秀賞/全国大会第3位 ●第24回KOBEL国際音楽コンクール 中高生部門 優秀賞
中辻 葵 (高3 クラリネット)	●第4回堺管打楽器コンクール 高校の部 木管部門 第2位
《 中学 》	
中馬 朋香 (中2 ピアノ)	●第12回ベーテン音楽コンクール 地区本選 優秀賞/全国大会入選
松蔭 さとり (中3 ヴァイオリン)	●第24回KOBEL国際音楽コンクール 弦楽器部門 B部門 優秀賞・神戸市教育委員会賞
《 音楽教室 》	
松岡 実咲綺 (小1 ヴァイオリン)	●第19回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門Age-E1 入選
安藤 愛依 (小5 ピアノ)	●日本クラシックコンクール 本選 優秀賞 ●フレッシュピアノコンサート 本選 優秀賞
塚本 莉央 (小5 ピアノ)	●アルカスジュニアピアノコンクール2018 小学5・6年生部門 奨励賞
岡田 桜子 (小6 ピアノ)	●第7回みおつくし音楽祭クラシック ジュニアコンクール 小学校高学年の部 文化奨励賞
酒井 琴音 (中2 ピアノ)	●第9回クオリア音楽コンクール 中学生部門 第2位

音楽科コンサート報告

糟野 優香 (高3 ピアノ)	●第24回KOBEL国際音楽コンクール入賞記念カラコン서트	2019.2.17
谷本 沙綾 (高3 ヴァイオリン)	●第12回ベーテン音楽コンクール 受賞者記念演奏会	2019.3.10
中辻 葵 (高3 クラリネット)	●第72回全日本学生音楽コンクール大阪大会入賞者発表演奏会・表彰式 ザ・フェニックスホール	2019.1.13
	●第35回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール入賞者披露演奏会 サントリーホールブルーローズ	2018.12.26
	●第4回堺管打楽器コンクール入賞者披露演奏会 堺市立西文化会館ウエスティ	2019.2.10

2018年度退職者一覧

大学		中学校・高等学校	
教員		教員	
音楽学部	米田 哲二	伊藤 優子	下玉 洋史 谷口 昌弘
人文学部	初塚 眞喜子	張本 貴昭	前川 葉子 牧野 さやか
人間発達学部	岸田 由岐	藪本 良	
	多門 隆子		
		事務局	
助手		岡田 英也	川崎 久美子 田代 由紀子
小松 重矢	田宮 雅美	田村 知也	富岡 裕美 長安 加奈子
		西浦 奈津	西田 仁美 花房 佳世
		眞島 美保	松本 定一

相愛学園 Event Guide

(2019年5月～12月)

(本) = 本町学舎 (南) = 南港学舎

- 市民仏教講座
5月11日(土) 13:30～15:00
(南)学生厚生館S307 受講無料
- 相愛ウィンドオーケストラ
学年別発表演奏会
5月20日(月) (南)ホール 入場無料
- 降誕会 / 親鸞聖人降誕会法要
5月21日(火)
- 特別奨学生による演奏会
5月21日(火)、22日(水)、23日(木)
(南)ホール 入場無料
- 第1回相愛中学校・高等学校
オープンスクール
5月25日(土) (本)学舎
- 相愛大学オープニングキャンパス
5月26日(日) (南)キャンパス
- フライブルグ音大、相愛大学
音楽学部共同研究演奏会
5月28日(火) (南)ホール
- 公開講座 ヴィオラスペース2019
5月29日(水) (南)ホール
- 市民仏教講座
6月1日(土) 13:30～15:00
(南)学生厚生館S307 受講無料
- 全日本吹奏楽コンクール課題曲
講習会
6月2日(日) (南)ホール 入場無料
- 定例礼拝
6月6日(木) 13:20～14:50
(南)ホール 自由参拝
- 公開講座
「人文学を楽しむPart3」①
6月8日(土)
(本)F604教室 受講無料
- 相愛コンサート
(ピアノ室内楽教員による)
6月12日(水) (南)ホール 入場無料
- 2・3・4回生金管アンサンブル
演奏会
6月13日(木) (南)ホール 入場無料
- 電子オルガンチャレンジ
6月15日(土) (本)講堂

- 1回生金管アンサンブル演奏会
6月20日(木) (南)ホール 入場無料
- 高3音楽科乙女コンサート
6月22日(土) (本)講堂 入場無料
- 相愛大学オープンキャンパス
6月23日(日) (南)キャンパス
- 定例礼拝
7月4日(木) 13:20～14:50
(南)ホール 自由参拝
- 公開講座
「人文学を楽しむPart3」②
7月13日(土)
(本)F604教室 受講無料
- 市民仏教講座
7月13日(土) 13:30～15:00
(南)学生厚生館S307 受講無料
- サマーコンサート(音楽教室)
7月13日(土) (本)講堂
- 相愛大学オープンキャンパス
7月21日(日) (南)キャンパス
- 相愛フィルハーモニア
第2回定期演奏会
7月21日(日) (南)ホール
- 第2回相愛中学校・高等学校
オープンスクール
7月25日(木) (本)学舎
- 相愛大学オープンキャンパス
8月4日(日)、5日(月)/17日(土)
(南)キャンパス
- 市民仏教講座
9月7日(土) 13:30～15:00
(南)学生厚生館S307 受講無料
- サクソフォン・アンサンブル演奏会
9月7日(土) (南)ホール 入場無料
- 高2音楽科乙女コンサート
9月7日(土) (本)講堂 入場無料
- 相愛大学オープンキャンパス
9月8日(日) (南)キャンパス
- 第3回相愛中学校・高等学校
オープンスクール
9月14日(土) (本)学舎
- 公開講座
「ヘルシーダイエット教室」①
9月21日(土)
- 公開講座
「人文学を楽しむPart3」③
9月21日(土)
(本)F604教室 受講無料

- 木管アンサンブルフェスタ
9月25日(水) (南)ホール 入場無料
- 定例礼拝
10月3日(木) 13:20～14:50
(南)ホール 自由参拝
- 相愛コンサート(声楽教員による)
10月3日(木) (南)ホール 入場無料
- 公開講座
「人文学を楽しむPart3」④
10月5日(土)
(本)F604教室 受講無料
- 公開講座
「ヘルシーダイエット教室」②
10月5日(土)
- 市民仏教講座
10月5日(土) 13:30～15:00
(南)学生厚生館S307 受講無料
- 弦楽器公開講座
10月10日(木) (南)ホール
- 大学祭
10月12日(土)、13日(日)
(南)キャンパス
- 管打楽器専攻成績優秀者による
独奏演奏会
10月15日(火) (南)ホール 入場無料
- 第4回相愛中学校・高等学校
オープンスクール
10月19日(土) (本)学舎
- 相愛オーケストラ
第72回定期演奏会
10月23日(水)
ザ・シンフォニーホール
- 公開講座
「ヘルシーダイエット教室」③
10月26日(土)
- フルートオケ演奏会
10月26日(土) (南)ホール 入場無料
- ホルンアンサンブル演奏会
10月31日(木) (南)ホール 入場無料
- クラリネットアンサンブル演奏会
11月2日(土) (南)ホール 入場無料
- 沙羅の木会合同発表会
11月3日(日) (南)ホール
- 報恩講法要
11月7日(木) (南)ホール
- トロンボーンアンサンブル演奏会
11月7日(木) (南)ホール 入場無料

- 相愛ウィンドオーケストラ
第41回定期演奏会
11月15日(金)
ザ・シンフォニーホール
- 公開講座
「ヘルシーダイエット教室」④
11月16日(土)
- 市民仏教講座
11月16日(土) 13:30～15:00
(南)学生厚生館S307 受講無料
- 高校音楽科・中学音楽科進学コース
第3回定期演奏会
11月16日(土) (本)学舎 入場無料
- 相愛大学オープンキャンパス
11月17日(日) (南)キャンパス
- ピアノ専攻生による演奏会
11月17日(日) (南)ホール 入場無料
- バリ・チューバアンサンブル演奏会
11月21日(木) (南)ホール 入場無料
- トランペットアンサンブル演奏会
11月28日(木) (南)ホール 入場無料
- 電子オルガン演奏会 GIFT
11月29日(金) (本)講堂
- 相愛寄席
11月30日(土) (本)講堂
- 打楽器アンサンブル演奏会
11月30日(土) (南)ホール 入場無料
- 作曲専攻作曲作品発表会
12月1日(日) (南)ホール 入場無料
- 音楽教室ピアノ公開レッスン
12月1日(日) (本)講堂
- 成道会法要
12月5日(木) (南)ホール 自由参拝
- 公開講座
「ヘルシーダイエット教室」⑤
12月7日(土)
- 市民仏教講座
12月7日(土) 13:30～15:00
(南)学生厚生館S307 受講無料
- 第64回相愛大学附属音楽教室
修了演奏会
12月14日(土) (本)講堂
- 金管アンサンブルフェスタ
12月16日(月) (南)ホール 入場無料
- 公開講座
「ヘルシーダイエット教室」⑥
12月21日(土)
- 相愛フィルハーモニア名曲コンサート
12月21日(土) (南)ホール

▶ 本学教員の近刊図書



『人のきもちがわかる子になる! おしえて!コロ和尚: こどものどうとく』
积 徹宗 監修
2019年2月発行
●日本能率協会マネジメントセンター
定価1,350円



『みんなのルールが守れる子になる! おしえて!コロ和尚: こどものどうとく』
积 徹宗 監修
2019年2月発行
●日本能率協会マネジメントセンター
定価1,350円



『街場の平成論 (犀の教室)』
内田樹 編著・积徹宗 他 著
2019年3月発行
●晶文社 定価1,600円



『日本人にとって聖地とは何か』
积徹宗 他 著
2019年3月発行
●東京書籍 定価1,700円



『異なる関西』
日本近代文学会
関西支部編集委員会 編
(荒井真理亜 他 著)
2018年11月発行
●田畑書店 定価2,800円



『トランペット練習の手引き 名エチュードに学ぶ合理的な練習法』
飯塚一郎 著
2019年2月発行
●ブレーン 定価1,400円

卒業生・修了生対象
「就業力調査」実施中!!

WITH ALL
SOAI
相愛大学
SOAI UNIVERSITY

調査に関する詳細はQR
コードまたはホームペ
ジより「就業力調査」の
バナーをクリック

